



# さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立151年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」

重点目標「自ら感じ 考え 行動する子」

文責：井村

## 前期学校評価を終えて



日頃より、桑村小学校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。また、7月には、グーグルフォームを用いた学校評価アンケートへのご協力をありがとうございました。

学校では、児童、保護者、教職員によるアンケート結果を基に、2学期に向けてよりよい学校を目指していくための話し合いを行いました。9月11日には、学校応援団会議（学校関係者評価委員会の機能を含む）において、学校応援団の皆様とも話し合いを行いました。それらを抜粋して報告いたします。

### ☆☆☆ 令和6年 前期アンケート結果と考察 ☆☆☆

函南スタンダード		児童	保護者	学校
1	進んであいさつをする	95.8	84.3	100
2	めあてをもって、挑戦し続ける	95.8	88.6	90
3	運動、音楽、芸術、行事など、夢中になって取り組めることがある	98.6	98.6	100
4	読書を楽しむ	90.1	78.6	100
5	ふるさと「函南」のよさを知る	93.0	82.9	100

#### 【函南スタンダードについて】

「函南スタンダード」は、町内園・小・中学校で共通の目標を設定し、町全体で子供たちを育てていくためのものです。本校の児童は、自己肯定感が高く、どの項目においても高い数値となりました。とても嬉しく思います。しかし、「1 進んであいさつをする」において、児童と保護者とで相違が見られました。学校では、桑っ子委員会企画の「あいさつじゃんけんラリー」等に取り組み、子供たちの気持ちのよいあいさつが飛び交っています。これが家庭や地域に広がり、今後も時と場に応じたあいさつができるよう指導を継続していきたいと思えます。

「4 読書を楽しむ」においても児童と保護者とで相違が見られました。本校は、「読書活動への扉を開く！（読書通信）」「親子読書の会」など保護者や学校応援団（地域住民）とともに協働で読書活動を展開しています。読書を味わう（味読）習慣が定着するよう、これらの活動を継続して行います。

つきたい資質・能力		児童	保護者	学校
1	桑村小のよさを感じている	97.2	94.3	90
2	聴き・話すことを大切に、学校生活を送っている	93.0	90.0	90
3	自分の思いを大切に、授業に取り組んでいる	94.4	94.3	100
4	自分と相手を大切にして、よりよく行動している	95.8	95.7	90
5	めあてに向けて取り組み続けている	93.0	94.3	90

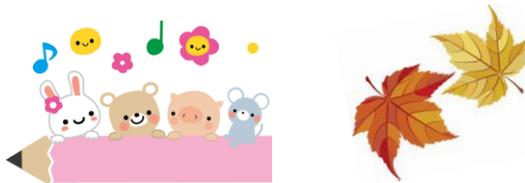
#### 【つきたい資質・能力について】

今年度も、5つのつきたい資質・能力を明確にして、授業や行事などの教育活動を進めています。児童の数値が高いことは、つきたい資質・能力を意識して学校生活を送ることができていると考えます。

昨年度教員の評価が低かった「2 聴き・話すことを大切に、学校生活を送っている」については、今年度向上が見られますので、今後も継続して指導していきたいと思えます。

児童の様子（学習面）		児童	保護者	学校
1	学習内容を理解	90.1	85.7	100
2	家庭学習の定着	97.2	87.1	100
3	楽しい授業	88.7		100

児童の様子（生活面）		児童	保護者	学校
1	学校は楽しい	93.0	95.7	90
2	みんなのために働く	90.1		70
3	縦割り遊びは楽しい	93.0		100
4	健診後の受診（受診中）		80.0	
5	安全な生活・登下校	98.6	100	90



学校（先生）の様子		児童	保護者	学校
1	児童理解に基づいた支援・指導	93.0	98.6	100
2	地域・保護者との連携	97.2	98.6	100
3	親身になった対応（学校への信頼感）	97.2	97.1	90
4	学校の様子を伝える（おたより、HP等）	69.0	100	100

子供自身にも学校が発信する情報に目を向けてほしいからです。学校だよりや「読書活動への扉を開く」、PTA 広報誌も随時ホームページ上で更新しております。これからも、学校での教育活動をはじめ、PTA 活動や学校応援団の活動を、より早く保護者や地域の方々に発信していきたいと思ひます。



**桑村小学校は、桑村道場や読み聞かせ（マルベリーの皆様方）の教育活動や、奉仕作業や桜の剪定などの環境整備において、地域の皆様、PTA の皆様に大変お世話になっております。いつもありがとうございます。**

**このような地域、保護者の皆様のご支援に応えることができるよう、「チーム桑村小」で取り組んでいきます。今後、よろしくお願ひいたします。**

### 【児童の様子（学習面）について】

「3 楽しい授業」では、児童が「学びたい」と意欲をもつような課題を設定したり、1人1台端末を効果的に活用したりしながら、どの子にも分かる授業づくりをしていきたいと思ひます。学びを実感できる振り返りも大切にしていきたいと思ひます。

### 【児童の様子（生活面）について】

異学年と関わる縦割り活動が盛んなことが、桑村小学校の強みと言えます。

「1 学校は楽しい」では、昨年度と比べて、児童の数値が約20%も向上しました。これまで「学校が楽しくない」という子供の思いを聞き取るとともに、子供主体で進める活動を支援してきました。子供たちに寄り添い、学習や行事、教育相談等に取り組んできた成果ではないかと考えています。一方、「2 みんなのために働く」の教員による評価が低かったため、係や委員会活動などで進んで働けるよう、励ましと見届け、価値付けをしていきたいと思ひます。

### 【学校（先生）の様子について】

保護者の皆様、地域の皆様の支えのおかげで、高い数値となりました。

「2 地域・保護者との連携」については、今後、児童数や世帯数の減少する中で、今の桑村小学校に合った新しいPTA組織に改編していきます。

「4 学校の様子を伝える」では、児童への質問項目を「学校からのお便りやHPを家の人と一緒に見ていると思う」を令和5年度に起こしました。